

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果 (電動ゆりかご) ロアンジュオートスイング RU650

- (1) メロディは、LED 点灯・曲数・音声・強弱切替とも良好。
- (2) スイングについては、LED 点灯・スタンバイの点滅・強弱切替は、スイッチパネル面では良好。
- (3) ただし、実際のスイングは、全く反応無



図-1 ロアンジュオートスイング RU650 の外観



図-2 本体座部を外したスイング起動部

2 治療の方法

● 本体座部を外してスイング機能起動部の点検

- (1) 図-2 は本体座部が固定される台座である。この状態でスイングスイッチをスタンバイ (LED 点滅) にして台座に初動を加えてもスイングが持続しない。
次に進む前に長年のホコリと塵の清掃をして、きれいな状態にした。
- (2) コイル磁石が機能していないように感じたので、台座を外して次に進んだ。

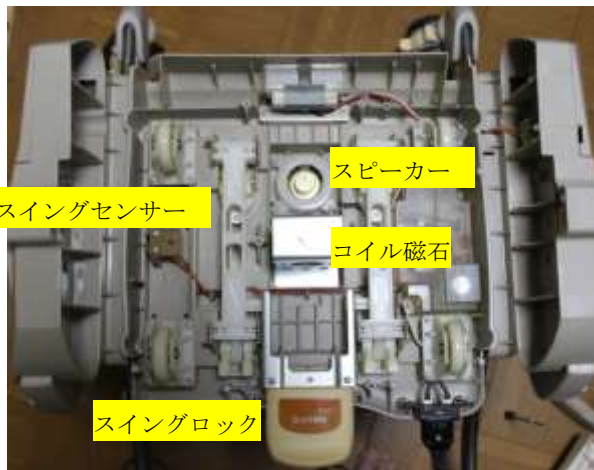


図-3 台座とピストンを除いた状態

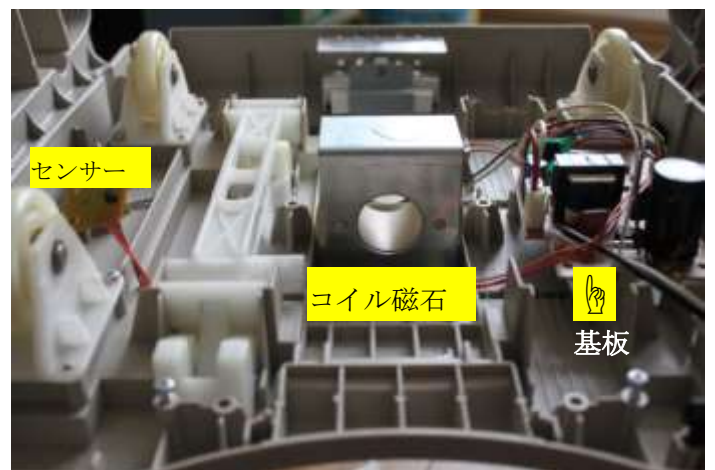


図-4 角度を変えて見た状態 指はカバーを外した基板



図-5 コイル磁石の端子



図-6 図-2 でも少し見えているピストン

(3) 図-3・図-4は、本体台座を外した状態で、センサー・スピーカー・コイル磁石・基板・スイングロツクレバー等が良くみえる。

図-4のコイル磁石のシリンダー(穴)も無水アルコールできれいに拭取り、図-6のピストンも図-6のように磨いた。**※このマシンでの正式名称は不明であり、適当に命名しております。**

(4) センサー及びセンサーの反射板(図-7)も点検手入れをした。

(5) 基板もヒューズも点検した。

一番怪しいのは、コイル磁石では無いかと思い、コイルを巻き終えた端子と基板からその端子へ繋がった箇所を点検すべく覆っているガムテープを剥がした。

すると、図-5のような、+線-線の接続端子の間にも一個端子があった。

(6) 基板の元からコイルと接続した端子間の導通は+線-線ともに1.7Ωあった。ところが、間の端子と+端子の間は119.5Ωあったが一線端子との間は「ゼロ」だった。



図-7 センサーの反射板

経験不足な私には『(ショート等で焼け)変色等が無い限り』内部で断線することは考えられなかった。「センサーの働きによって繋がるのかなー」と思っていた。

(7) 識者の方にも確認して頂いたが「導通がないことが何よりの証明」とのことでありました。

● その他参考

(1) 左スイング入/切スイッチ&調整ボタン、

右メロディ入/切スイッチ&調整ボタン



(2) 左 基板の表、

右 基板の裏側



3 依頼者様への対応

(1) 二台お預かりしているうち、一台は南国診療所のドクターが担当しています。

現在までの状況は、最新情報を報告させて頂きました。

(2) 谷の預り分は、レポートのとおりであります。

(3) 依頼者様が、会社の連絡先を知っておられるので、会社での修理の可否を確認して頂きます。

お渡し予定日：平成28年8月27日

担当ドクター：谷 春雄